

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
this Office.

願 年 月 日
Date of Application:

1998年10月 2日

願 番 号
Application Number:

平成10年特許願第280885号

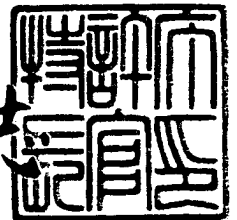
願 人
Applicant(s):

三洋電機株式会社

1999年 8月24日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山 建志



出証番号 出証特平11-3059224

【書類名】 特許願

【整理番号】 NEB0983260

【提出日】 平成10年10月 2日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 15/60

【発明の名称】 画像情報提供装置と画像情報提供方法及び画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体

【請求項の数】 11

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

 【氏名】 泰間 健司

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

 【氏名】 山田 晃弘

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

 【氏名】 榎本 哲也

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

 【氏名】 天野 隆平

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内

 【氏名】 竹本 賢史

【特許出願人】

【識別番号】 000001889

【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【代表者】 近藤 定男

【代理人】

【識別番号】 100076794

【弁理士】

【氏名又は名称】 安富 耕二

【連絡先】 電話 03-5684-3268 知的財産部駐在

【選任した代理人】

【識別番号】 100107906

【弁理士】

【氏名又は名称】 須藤 克彦

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 013033

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9702954

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像情報提供装置と画像情報提供方法及び画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、該素材記憶手段の画像情報を表示手段に一覧表示させる素材一覧表示手段と、前記表示手段に一覧表示した画像情報を複数指定できる画像指定手段と、画像を嵌め込む飾り枠を複数ページを関連付けて構成したテンプレートに前記画像指定手段で指定した全ての画像を一括して取り込み画像情報提供資料として作成するプレゼン作成手段と、を備えたことを特徴とする画像情報提供手段。

【請求項 2】 前記プレゼン作成手段は、前記テンプレートのうち指定されたページから順に前記画像指定手段で指定した画像を取り込むことを特徴とした請求項 1 に記載の画像情報提供装置。

【請求項 3】 前記プレゼン作成手段で作成された画像情報提供資料を記憶するプレゼン記憶手段と、該プレゼン記憶手段に記憶している画像情報提供資料を一覧表示させるプレゼン一覧表示手段とを備えたことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 のいずれか 1 つに記載の画像情報提供装置。

【請求項 4】 前記素材記憶手段は、前記画像情報を階層構造に構成し集合させたフォルダも記憶し、また前記プレゼン作成手段は、前記フォルダを指定して画像を取り込み作成するとき、前記テンプレートの階層構造を前記フォルダの階層構造と同じにして画像情報提供資料を作成することを特徴とする請求項 1 ～ 請求項 3 のうちいずれか 1 つに記載の画像情報提供装置。

【請求項 5】 前記画像情報提供資料の各ページを階層構造に並べて一覧表示するプレゼン階層表示手段とを備え、該プレゼン階層表示手段は、同じ階層のページを表示するとき、重ねて表示することを特徴とする請求項 4 に記載の画像情報提供装置。

【請求項 6】 前記プレゼン階層表示手段による階層表示状態で、各ページに取り込まれた画像情報の交換や、差し替え等の編集を行う編集手段を備えたことを特徴とする請求項 5 に記載の画像情報提供装置。

【請求項 7】 前記テンプレートの各ページのタイトルを自動的に取り込む名称取込手段を備え、前記素材記憶手段は画像情報をファイルネームを付して記憶しており、また前記名称取込手段は、前記画像情報のファイルネームをその画像情報が取り込まれた前記テンプレートのページのタイトルとして取り込むことを特徴とする請求項 1～請求項 6 のうちいずれか 1 つに記載の画像情報提供装置。

【請求項 8】 静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段から表示手段に前記画像情報を一覧表示させる第 1 ステップと、該第 1 ステップで一覧表示した画像情報を画像指定手段で複数指定する第 2 ステップと、該第 2 ステップで指定した全ての画像情報を、画像情報が嵌め込める飾り枠を複数ページ関連付けて構成したテンプレートにプレゼン作成手段が一括して取り込み、画像情報提供資料を作成する第 3 ステップとを備えることを特徴とする画像情報提供方法。

【請求項 9】 第 2 ステップで複数指定された画像情報が階層構造に構成し集合させたフォルダであったとき、前記プレゼン作成手段がテンプレートの階層構造を前記フォルダの階層構造と同じにして画像情報を取り込み画像情報提供資料を作成する第 4 ステップをさらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の画像情報提供方法。

【請求項 10】 静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、該素材記憶手段の画像情報を表示手段に一覧表示させる素材一覧表示手段と、前記表示手段に一覧表示した画像情報を複数指定できる画像指定手段と、画像を嵌め込む飾り枠を複数ページを関連付けて構成したテンプレートに前記画像指定手段で指定した全ての画像を一括して取り込み画像情報提供資料として作成するプレゼン作成手段と、を実行することを特徴とする画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体。

【請求項 11】 前記素材記憶手段は、画像情報を階層構造に構成し集合させたフォルダも記憶し、また前記プレゼン作成手段は、前記フォルダを指定して画像を取り込み作成するとき、前記テンプレートの階層構造を前記フォルダの階層構造と同じにして画像情報提供資料を作成することをさらに実行させることを

特徴とする請求項10に記載の画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、スキャナやカメラ等の画像入力装置から入力された静止画やコンピュータで作成された動画等の画像情報を提示する画像提示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来は、たとえば特開平8-180037号公報には、プレゼンテーションや資料作成に不慣れなユーザーであっても、スムーズに高品質な資料を作成する資料作成支援システムに関して記載されている。

【0003】

さらに詳述すると、このものは、ユーザが行うタイトルなどの部品の配置、形状変更、テキストパターン変更処理に平行して、該部品に関するレイアウト、形状、テキストパターンの視覚的快適度、すなわち作成された資料における部品のレイアウト等について予め定められている評価基準を用い、その評価基準が定める理想的な状態との差、または理想的な状態との同一の度合いを数量的に表わした評価値を算出し、この評価値を画像や音声によりユーザーに告知する。

【0004】

ユーザーはこの告知された評価結果を1つの目安として作成した資料のテキスト、グラフ、図形などの配置、形状、サイズのバランス等の美観や視認性について評価ができる。

【0005】

そして、プレゼンテーションや資料作成に不慣れなユーザーであっても、タイトル、本文、グラフ、写真等をバランスよく配置でき、スムーズに高品質な資料を作成することができるものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前述のプレゼンテーション用資料を作成する際、特に画像を取

り込む際は、1つ1つ画像を指定して取り込むという作業が必要になる。取り込みたい画像が多くなればなるほど、この際行に手間がかかると共に、作成に要する時間もかかり、大変不便であった。

【0007】

また、各ページを階層構造に関連付けて構成しているため、1ページずつしか表示できない編集モードでは、操作者の頭の中で全体のつながりをイメージしながら1ページずつ次の移る画像を指定して編集作業を行っていたので、編集作業に大変手間が掛かっていた。

【0008】

本発明は、斯かる課題を解決するためのものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

この発明によれば、静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、該素材記憶手段の画像情報を表示手段に一覧表示させる素材一覧表示手段と、前記表示手段に一覧表示した画像情報を複数指定できる画像指定手段と、画像を嵌め込む飾り枠を複数ページに関連付けて構成したテンプレートに前記画像指定手段で指定した全ての画像を一括して取り込み画像情報提供資料として作成するプレゼン作成手段と、を備えたことを特徴とする。

【0010】

また、前記プレゼン作成手段は、前記テンプレートのうち指定されたページから順に前記画像指定手段で指定した画像を取り込むことを特徴とする。

【0011】

また、前記プレゼン作成手段で作成された画像情報提供資料を記憶するプレゼン記憶手段と、該プレゼン記憶手段に記憶している画像情報提供資料を一覧表示させるプレゼン一覧表示手段とを備えたことを特徴とする。

【0012】

また、前記素材記憶手段は、前記画像情報を階層構造に構成し集合させたフォルダも記憶し、また前記プレゼン作成手段は、前記フォルダを指定して画像を取り込み作成するとき、前記テンプレートの階層構造を前記フォルダの階層構造と

同じにして画像情報提供資料を作成することを特徴とする。

【0013】

また、前記画像情報提供資料の各ページを階層構造に並べて一覧表示するプレゼン階層表示手段とを備え、該プレゼン階層表示手段は、同じ階層のページを表示するとき、重ねて表示することを特徴とする。

【0014】

また、前記プレゼン階層表示手段による階層表示状態で、各ページに取り込まれた画像情報の交換や、差し替え等の編集を行う編集手段を備えたことを特徴とする。

【0015】

また、前記テンプレートの各ページのタイトルを自動的に取り込む名称取込手段を備え、前記素材記憶手段は画像情報をファイルネームを付して記憶しており、また前記名称取込手段は、前記画像情報のファイルネームをその画像情報が取り込まれた前記テンプレートのページのタイトルとして取り込むことを特徴とする。

【0016】

さらに、静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段から表示手段に前記画像情報を一覧表示させる第1ステップと、該第1ステップで一覧表示した画像情報を画像指定手段で複数指定する第2ステップと、該第2ステップで指定した全ての画像情報を、画像情報が嵌め込める飾り枠を複数ページ関連付けて構成したテンプレートにプレゼン作成手段が一括して取り込み、画像情報提供資料を作成する第3ステップとからなる画像情報提供方法を特徴とする。

【0017】

また、第2ステップで複数指定された画像情報が階層構造に構成し集合させたフォルダであったとき、前記プレゼン作成手段がテンプレートの階層構造を前記フォルダの階層構造と同じにして画像情報を取り込み画像情報提供資料を作成する第4ステップをさらに備えた画像情報提供方法を特徴とする。

【0018】

さらに、静止画及び動画等の画像情報を記憶する素材記憶手段と、該素材記憶

手段の画像情報を表示手段に一覧表示させる素材一覧表示手段と、前記表示手段に一覧表示した画像情報を複数指定できる画像指定手段と、画像を嵌め込む飾り枠を複数ページを関連付けて構成したテンプレートに前記画像指定手段で指定した全ての画像を一括して取り込み画像情報提供資料として作成するプレゼン作成手段と、を実行する画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体を特徴とする。

【0019】

また、前記素材記憶手段は、画像情報を階層構造に構成し集合させたフォルダも記憶し、また前記プレゼン作成手段は、前記フォルダを指定して画像を取り込み作成するとき、前記テンプレートの階層構造を前記フォルダの階層構造と同じにして画像情報提供資料を作成することをさらに実行させる画像情報提供装置用プログラムを記憶した媒体を特徴とする。

【0020】

【発明の実施の形態】

本発明により一実施例を、以下に説明する。

【0021】

図1において、1はプレゼンテーションの素材となる静止画1aや動画1bの画像情報を記憶している素材記憶手段となる素材メモリ、2は後述する前記素材メモリ1内の画像情報を嵌め込むための複数種類の形状や色を有する飾り枠やボタン及び背景等からなる部品画像情報と飾り枠1つを1ページとして複数ページを階層構造で関連付けた飾り枠の集合（以下テンプレートと呼ぶ）とを記憶するテンプレートメモリである。

【0022】

3はテンプレートメモリ2のあるテンプレートに画像を嵌め込み、このテンプレートを複数枚関連付けて、階層的につなげ、1つのフォルダとして作成された画像情報提供資料となるプレゼン資料を記憶するプレゼン記憶手段となるプレゼンメモリ、4はCRT等の表示手段、5は表示手段2の表示画面上の任意の位置を指定する画像指定手段となる位置指定手段5である。

【0023】

6は本発明の画像情報提供装置の制御をつかさどる制御手段、7は素材メモリ1、テンプレートメモリ2及びプレゼンメモリ3に記憶している情報を表示制御するための表示制御手段である。

【0024】

該表示制御手段7は、素材メモリ1内の画像情報を表示手段2に一覧表示させる素材一覧表示部71と、テンプレートメモリ2内のテンプレート及び部品画像情報を表示手段2に一覧表示させるテンプレート一覧表示部72と、プレゼンメモリ3内のプレゼン資料を表示手段2に一覧表示させるプレゼン一覧表示部73と、プレゼンメモリ3内の指定された1つのプレゼン資料内の各画像情報の関連状態、すなわち階層構造を表示手段2に一覧表示させるプレゼン階層表示部74とを有している。

【0025】

前記素材一覧表示部71は、静止画または動画を問わず、全ての画像情報を縮小して図6のように表示手段2に一覧表示させ、さらに一覧表示した画像情報のうち動画は縮小した状態で駆動表示させる。

【0026】

また前記プレゼン一覧表示部73は、図7のようにフォルダ表示形式で表示手段2に一覧表示させている。なお、フォルダ形式による表示の代わりに、プレゼン資料の1ページ目を代表画像として、縮小して一覧表示させても良い。

【0027】

さらにプレゼン階層表示部74は、例えばプレゼン資料が図9に示すように、第1階層に2つの画像ファイルAとCとフォルダBとが関連付けられ、さらに第2階層としてフォルダB内にはフォルダBとしての画像ファイルBとフォルダDとEとFとが関連付けられている。各フォルダD、E、Fには複数毎の画像ファイルが配列されている。

【0028】

前述の階層構造は図10のように階層的に一覧表示される。この時、フォルダD、E、F内の画像ファイルは全て並べて表示すると長くなるので、全てが表示できるように重ねて表示されている。

【0029】

8は初期画面を表示手段2に表示させる初期画面表示手段である。該初期画面表示手段8で表示させる表示画面は、例えば図5に示すような初期画面16である。

【0030】

該初期画面16は、中央部に窓部24を有する飾り枠23、すなわちテンプレートと、窓部24内に表示配置された3つのボタンとで構成されている。この3つのボタンとは、プレゼン表示を開始させるプレゼンボタン17と、プレゼン資料の新規作成または編集を行うための編集ボタン18と、表示動作終了させる動作終了ボタン19とである。

【0031】

該各ボタン17、18、19は、各ボタンの囲われた領域内を位置指定手段5で指定し、後述する指定位置検出手段10で検出したとき、各機能が動作するように設定されている。なお、以後、この動作を単に、位置指定手段5で指定したと呼ぶ。

【0032】

9はプレゼンメモリ3に記憶するプレゼン資料をスライドショー形式でプレゼンテーション表示するプレゼン表示制御手段、10は位置指定手段5で表示手段4上の位置を指定したとき、指定した位置を検出する指定位置検出手段、11はテンプレートメモリ2に記憶するテンプレートのうち、所望のテンプレートを指定するテンプレート指定手段である、

該テンプレート指定手段11は、テンプレートが指定されなかった場合、予め決められたテンプレートが指定される設定となっている。

【0033】

12は素材メモリ1の画像情報をテンプレート指定手段11で指定したテンプレートに取り込みプレゼン資料を作成するプレゼン資料作成手段、13はプレゼン作成手段12で取り込んだ画像情報の表示順序を入れ替えたり、取り込んだ画像情報の一部を素材メモリ1内の画像情報と交換して編集する編集手段、14は画像情報のタイトル名を取り込む名称取込手段である。

【0034】

該名称取込手段14は、プレゼン作成手段12で取り込んだ画像ファイルの名称をプレゼン資料における画像のタイトルとしてテンプレートに取り込むのである。

【0035】

15は表示制御手段6内の各機能を駆動させるためのプログラムが記憶されているプログラムメモリである。

【0036】

前記制御手段6は、表示制御手段7乃至名称取込手段14の各機能を含んで構成されている。

【0037】

かかる構成の動作を図2に基づいて説明する。

【0038】

まずステップS1では、初期画面表示手段8が図6に示すような初期画面16を表示手段2に表示させる。ステップS2では、プレゼンボタン17が位置指定手段5で指定されたかどうか判断する。

【0039】

ステップS2でプレゼンボタン17が指定されたと判断したとき、ステップS3に進み、プレゼン一覧表示部73が表示手段2にプレゼンメモリ3に記憶するプレゼン資料の一覧を表示する。ステップS4では表示手段2に表示したプレゼン資料のうち、位置指定手段5で表示させたいプレゼン資料を指定する。ステップS5ではステップS4で指定したプレゼン資料をプレゼンメモリ3から読み出し、表示手段2にスライドショー形式でプレゼンテーションのための表示を実行する。

【0040】

該ステップS5のプレゼンテーションの実行が終了したとき、ステップS1に戻り、再び初期画面16を表示させる。

【0041】

前述のステップS2でプレゼンボタン17が指定されていないと判断したとき

、ステップS6に進み、編集ボタン18が指定されたかどうか判断する。

【0042】

そして、ステップS6で編集ボタン18が指定されたと判断すると、ステップS7に進む。ステップS7では編集手段13が図8のような編集画面20を表示手段2に表示させ、プレゼン資料の新規作成ボタン21が指定されたかどうか判断する。新規作成ボタン21が指定されたと判断したとき、ステップS8に進み、新規作成操作を実行する。

【0043】

該ステップS8の新規作成操作について図3に基づき説明する。

【0044】

まずステップS100では、テンプレート一覧表示部72がテンプレートメモリ2に記憶した飾り枠やボタン等の部品画像情報を表示手段2に一覧表示する。ステップS101では表示手段2に一覧表示した部品画像情報から所望の飾り枠やボタン等を位置指定手段5で指定し、テンプレートを作成し、さらにプレゼン資料を作成する。

【0045】

具体的には、作成したテンプレートをビットマップやGIF形式で表示画面全てを記憶するのではなく、プレゼン作成手段12が、ベースとなる飾り枠のテンプレートメモリ2上のアドレス、該飾り枠上に配置するボタンのテンプレートメモリ2上のアドレスと飾り枠上の配置する位置と使用する背景のテンプレートアドレス2上のアドレスとテンプレートの枚数及び各テンプレートの関連性を記述したプレファレンスファイルを作成するのである。

【0046】

なお、前述のとおり位置指定手段5で所望のテンプレートを指定しないときは、プレゼン作成手段12が予め設定されているテンプレートに相当するプレファレンスファイルを自動的に作成する。

【0047】

ステップS102では素材一覧表示部2が表示手段2に素材メモリ1内の画像情報を一覧表示させる。ステップS103では位置指定手段5でプレゼンテーシ

ョンに使用する画像情報を選択指定する。ここですべてを選択したい場合は、例えば図 6 中のテンプレート 23 の右上部に配置された ALL ボタン 25 を位置指定手段 5 で指定すれば、全ての画像情報を選択指定できる。

【0048】

ステップ S104 ではステップ S101 で作成したプレゼン資料をプレゼン階層表示部 74 で階層表示すると共に、画像情報を取り込みたい取込み開始のページを指定する。

【0049】

例えば、ステップ S101 で作成された図 11 に示すような画像が取り込まれていないプレゼン資料が、プレゼン階層表示部 74 で階層表示されたとする。この図 11 中に付されている数字はプレゼン資料のページ番号である。このステップでは、階層表示中、画像の取込を開始したいページを位置指定手段 5 で指定すれば良いのである。

【0050】

ステップ S105 では例えば図 6 中の左下部に配置した取り込み指示をする OK ボタン 26 を位置指定手段 5 で指定したかどうか判断し、指定したと判断されるまで待機する。該ステップ S105 で OK ボタン 26 が操作されたと判断したとき、ステップ S106 に進み、プレゼン作成手段 12 がステップ S103 で指定した画像情報をステップ S101 で指定したテンプレートに取り込む。

【0051】

具体的には、図 11 において、2 ページ目が嵌め込み開始ページとして指定され、4 枚の画像情報が指定されていると、2 ページ目のテンプレートに取り込む画像情報の素材メモリ 1 上のアドレスをステップ S101 で作成されたプレファレンスファイルの 2 ページ目のテンプレート情報に追加記憶する。残り 3 ページ～5 ページについても同様にしてプレファレンスファイルに画像情報が追加される。

【0052】

そして、ステップ S107 では取り込んだ画像情報のファイルネームをそのテンプレートのタイトル名として名称取込手段 14 が取り込み、プレファレンスフ

ファイルに追加し、完成したプレゼン資料のプレファレンスファイルをプレゼンメモリ 3 に記憶させる。その後ステップ S 8 に戻り、ステップ S 11 に進み、編集動作を実行するのである。

【0053】

また、前述のステップ S 102 の読み出し操作について、図 4 に基づいてさらに説明する。

【0054】

まずステップ S 200 では、制御手段 1 が素材メモリ 1 から画像情報 1 つを読み出す。ステップ S 201 ではこの読み出した画像情報が静止画かどうか判断する。該ステップ S 201 で静止画であると判断したとき、ステップ S 202 に進み、静止画を縮小処理する。そしてステップ S 203 では素材一覧表示部 71 が表示手段 2 に一覧表示させ、ステップ S 204 に進む。

【0055】

また、ステップ S 201 で静止画でなく、動画であると判断したとき、ステップ S 205 に進む。ステップ S 206 では動画を縮小処理する。そして、ステップ S 206 では素材一覧表示部 71 が表示手段 2 に一覧表示させる。ステップ S 207 では動画の表示を駆動させ、ステップ S 204 に進む。

【0056】

ステップ S 204 では素材メモリ 1 から画像情報を全て読み出したかどうか判断する。該ステップでは読み出す画像情報が残っていればステップ S 200 に戻って再度読み出し動作を実行し、全て読み出し終えたらステップ S 102 に戻り、次のステップ S 103 に進む。

【0057】

以上でステップ S 8 の新規作成操作を終了し、次のステップ S 11 に進む。

【0058】

またステップ S 7 で新規作成ボタン 21 が指定されず、編集・修正ボタン 22 が指定されたと判断したとき、ステップ S 9 に進む。ステップ S 9 では、プレゼン一覧表示部 73 がプレゼンメモリ 3 に記憶するプレゼン資料を、図 8 のように表示手段 2 に一覧表示させる。そして、ステップ S 10 では一覧表示されたプレ

ゼン資料のうち編集したい所望のプレゼン資料を位置指定手段 5 で指定する。

【0059】

前述のステップ S 8 またはステップ S 10 を実行した後は、ステップ S 11 に進み、プレゼン資料の各ページを図 10 のように階層表示する。この階層構造を見ることにより、各ページのつながりや順序が一目で見ることができるのである。

【0060】

ステップ S 12 ではステップ S 11 の一覧表示で、表示順番や不適切な画像かどうかを判断し、必要なら編集する画像を指定して表示順序を入れ替えたり、素材メモリ 1 から新たな画像情報と交換したりして編集する。編集が終了したとき、ステップ S 1 に戻り、再び初期画面 16 を表示手段 2 に表示させる。

【0061】

前述のステップ S 6 で編集ボタン 18 を指定していないと判断したとき、ステップ S 13 に進み、終了ボタン 19 が指定されたかどうか判断する。ステップ S 13 で終了ボタン 19 が指定されたと判断したとき、ステップ S 14 に進み、制御手段 6 の動作を終了させ、表示動作を終了する。

【0062】

なお、ステップ S 13 で表示動作終了ボタン 11 が指定されていないと判断されたとき、すなわち無効な指定操作があったときは、ステップ S 2 に戻り、次の操作まで待機する。

【0063】

以上のようにしてプレゼン資料に画像が取り込まれるのである。

【0064】

前述の実施例において、素材メモリ 1 は、静止画や動画のように単独の画像情報を記憶しているほか、これらが増情報を階層構造に関連付けてつなげ、1つの集合体、すなわちフォルダも記憶させてもよい。

【0065】

また、前述のステップ S 103 で指定する画像情報の代わりにフォルダをしたときは、ステップ S 106 でプレゼン作成手段 12 が、指定したフォルダ内

の画像をテンプレートに取り込むとき、テンプレートの階層構造をフォルダの階層構造と同じにして取り込むようにすればなお良い。このことで、フォルダ作成時に階層構造を決めて記憶させておけば、後のプレゼン資料作成の手間が大幅に省けるものである。

【0066】

また上記階層構造を指定してプレゼン資料を作成するとき、階層構造の分岐画面となるテンプレートには、別の階層へ移るときに指定するボタンの数を、階層構造の分岐数に合わせて自動的に決定し、配置されるようにすればなお良い。この時、配置されたボタンには分岐先のフォルダに付されたフォルダネームが取り込まれてボタン内に表示され、さらにボタンにその分岐先のアドレスも取り込まれ、自動的に階層リンクボタンが作成されている。

【0067】

つまり、ボタンの配置やボタンを指定したときの飛び越し先のアドレスを設定を、フォルダを指定してプレゼン資料として取り込む操作をするだけで行うので、操作者は面倒なボタンデザインの配置やリンク設定の作業から開放される。

【0068】

また、前述の実施例では、素材メモリ1内に記憶している画像情報として、静止画や動画としていたが、本発明ではこれに限らず、QuickTime VRの形式やVRMLの形式で作成された3Dデータも含み、パノラマ画像等を表示を素材一覧表示部71で表示手段2に縮小表示させるようにしても良い。

【0069】

また、前述の実施例では、テンプレートを、素材メモリ1の画像情報やテンプレートメモリ2の部品画像情報を再構成して作成していたが、本発明はこれに限らず、任意の画像情報を縮小したり拡大したりして複数枚合成して作成するようにしても良い。

【0070】

さらに、プレゼンメモリ3には、プレゼン資料毎に表示を構成する取り込む画像情報やそのサイズ、及び取り込み位置などを記述したプレファレンスファイルを作成し、記憶させているが、本発明はこれに限らず、画像を取り込んだテンプレ

レートビットマップやGIFファイルなどの1つの画像ファイルとして作成し、記憶させるようにしても良い。

【0071】

また、前述の実施例では、画像情報提供資料は、プレゼンテーション用の資料作成として説明しているが、本発明はこれに限らずアルバムや図鑑などの作成編集にも使用できる。

【0072】

【発明の効果】

本発明によれば、プレゼン資料を作成するとき、時間と手間がかからず容易に作成編集をすることができる。また、階層構造を一覧表示させているので、階層構造の関連状態が一目でわかり、視認性を向上させ、編集作業の容易性が向上できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の画像情報提案装置のシステムブロック図である。

【図2】

本発明の画像情報提案装置の動作フローチャートを示す図である。

【図3】

図2中の新規作成ステップに関する動作フローチャートを示す図である。

【図4】

図3中の読み出しステップに関する動作フローチャートを示す図である。

【図5】

表示手段に表示される画面のうち初期画面を示す図である。

【図6】

表示手段に表示される画面のうち一覧表示の画面を示す図である。

【図7】

表示手段に表示される画面のうちフォルダの一覧表示の画面を示す図である。

【図8】

表示手段に表示される画面のうち編集選択画面を示す図である。

【図 9】

フォルダ内に階層構造を構成して記憶された画像情報の一例を示す図である。

【図 10】

図 9 の階層構造を一覧表示した画面を示す図である。

【図 11】

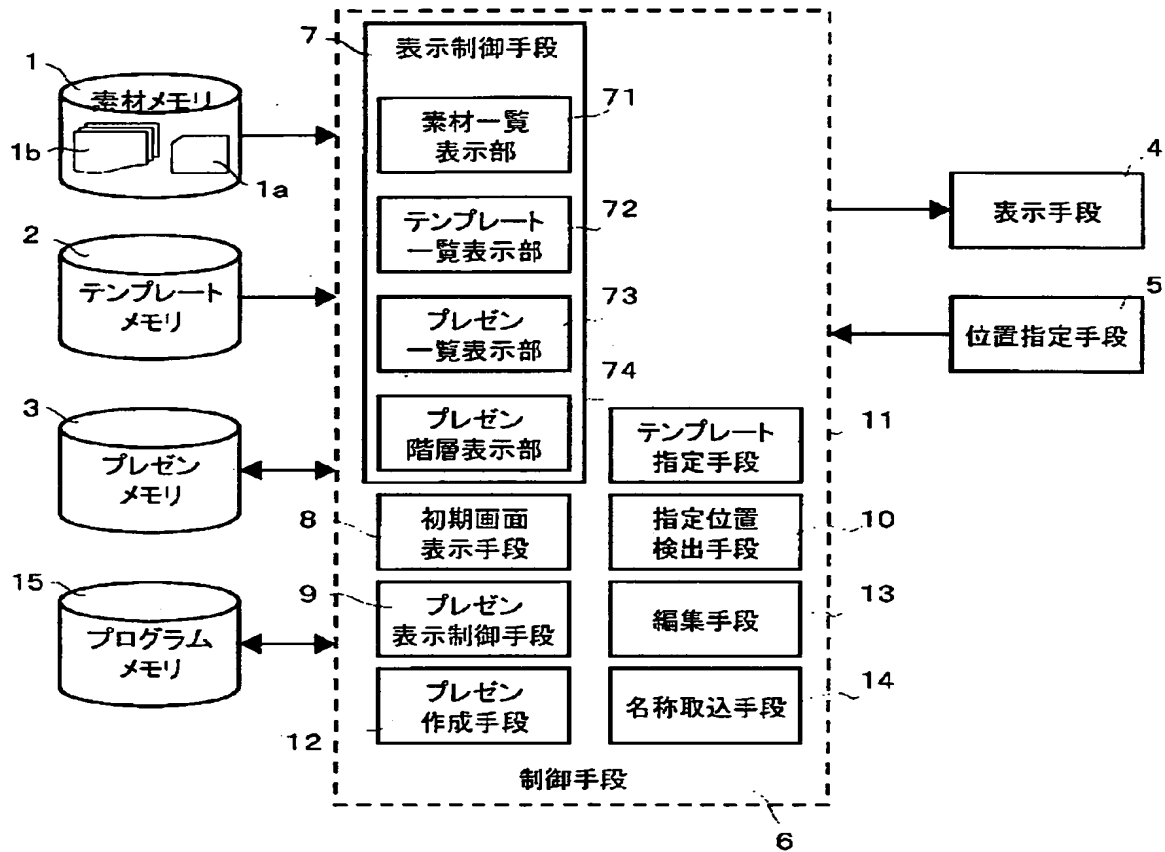
プレゼン資料の階層構造の一例を示す図である。

【符号の説明】

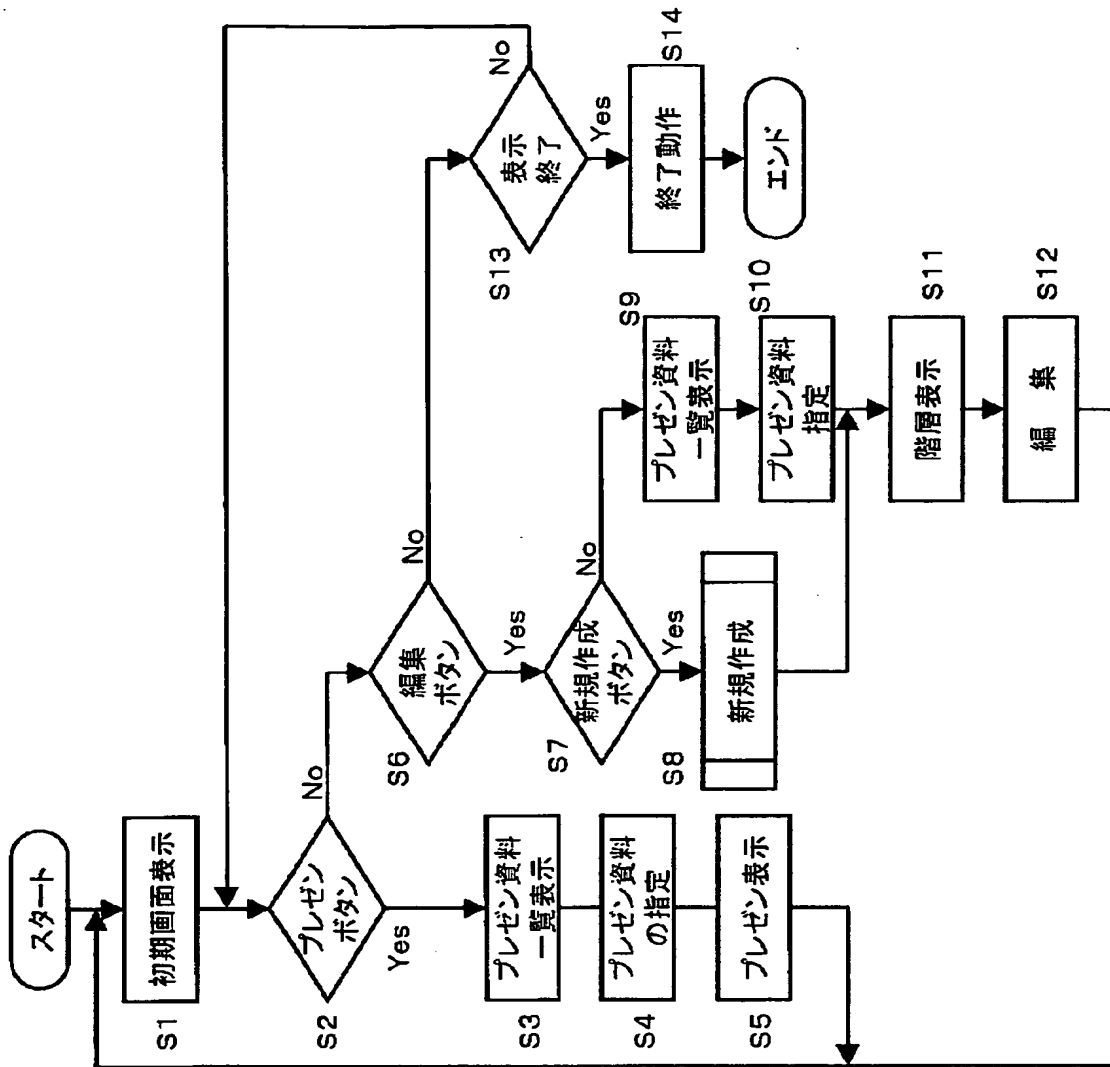
- 1 素材メモリ
- 2 表示手段
- 6 制御手段
- 7 表示制御手段
- 9 プレゼン制御表示手段
- 12 プレゼン作成手段
- 13 編集手段
- 14 名称取込手段

【書類名】 図面

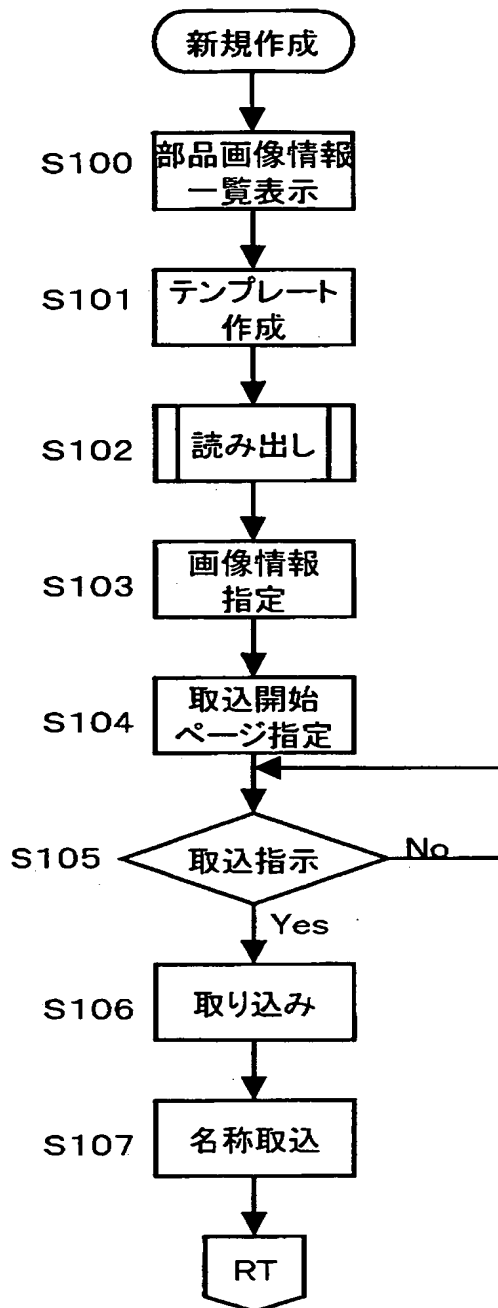
【図 1】



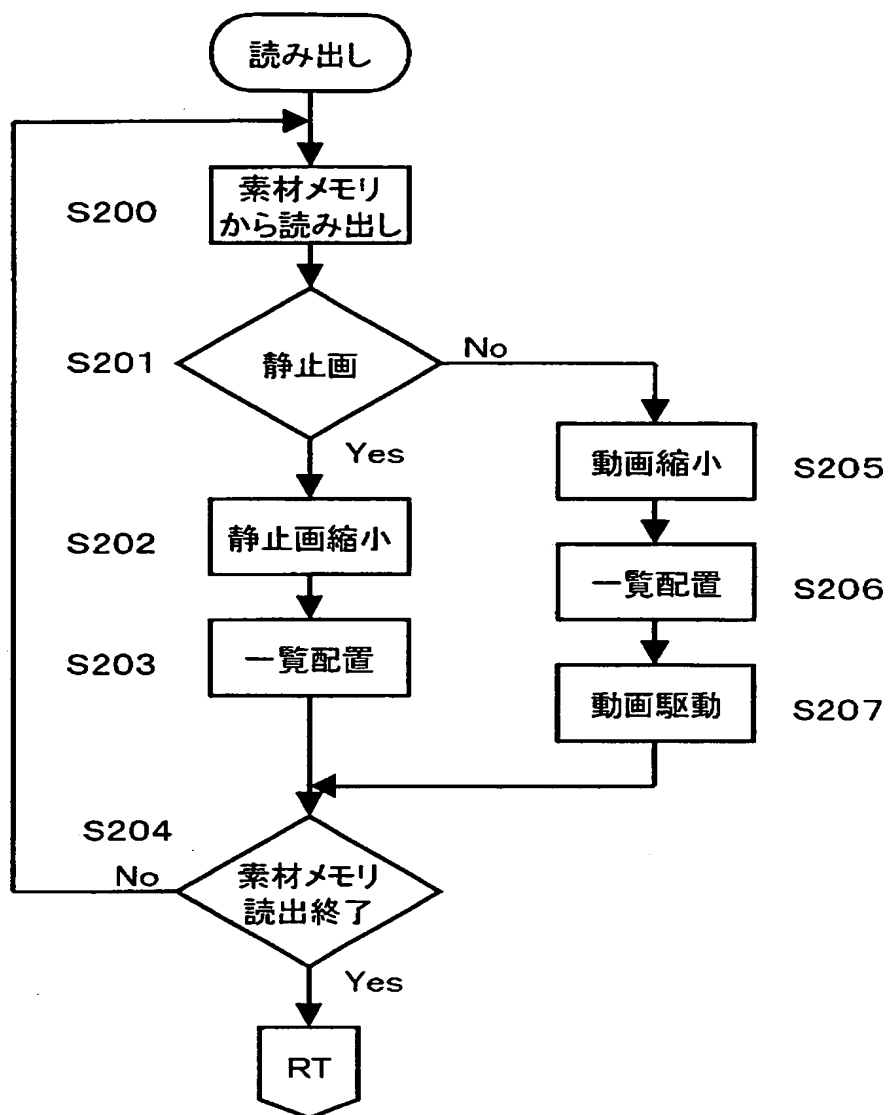
【図 2】



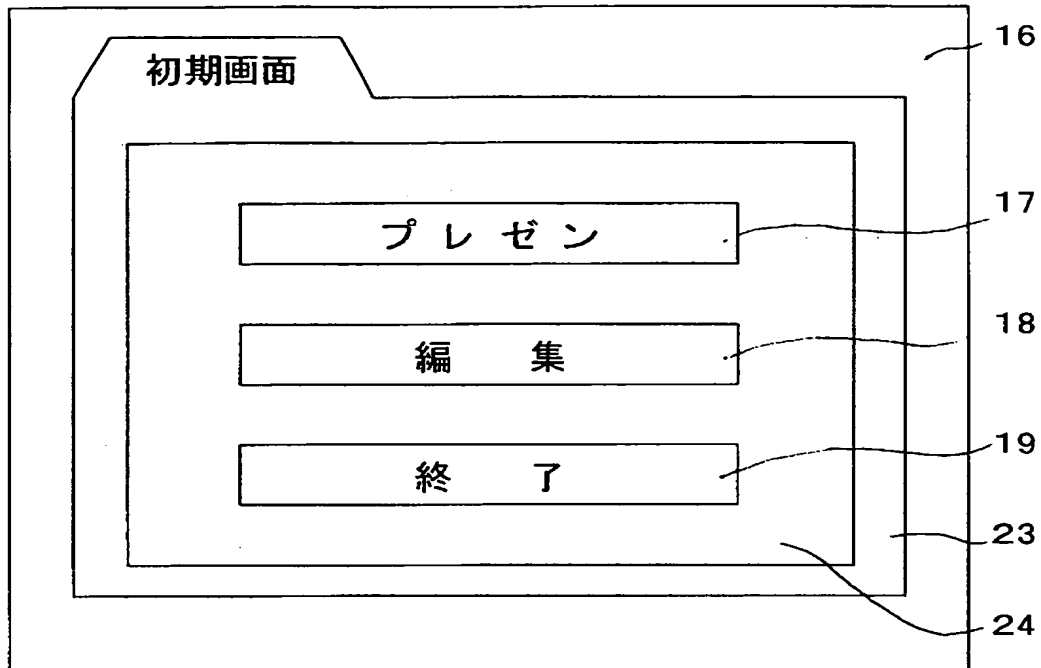
【図 3】



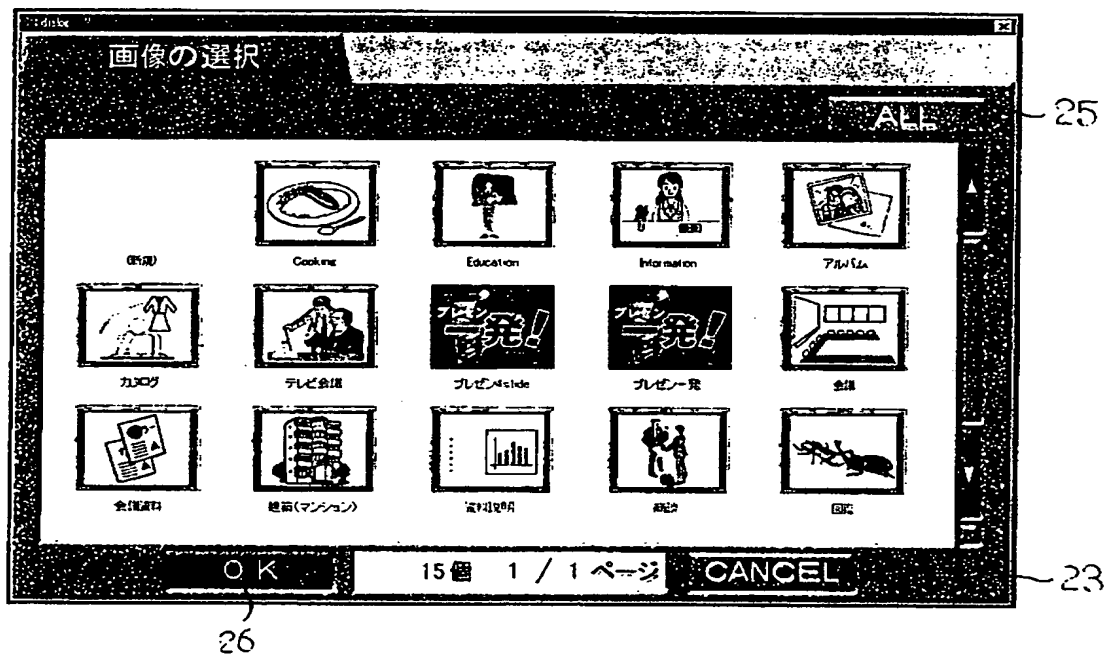
【図4】



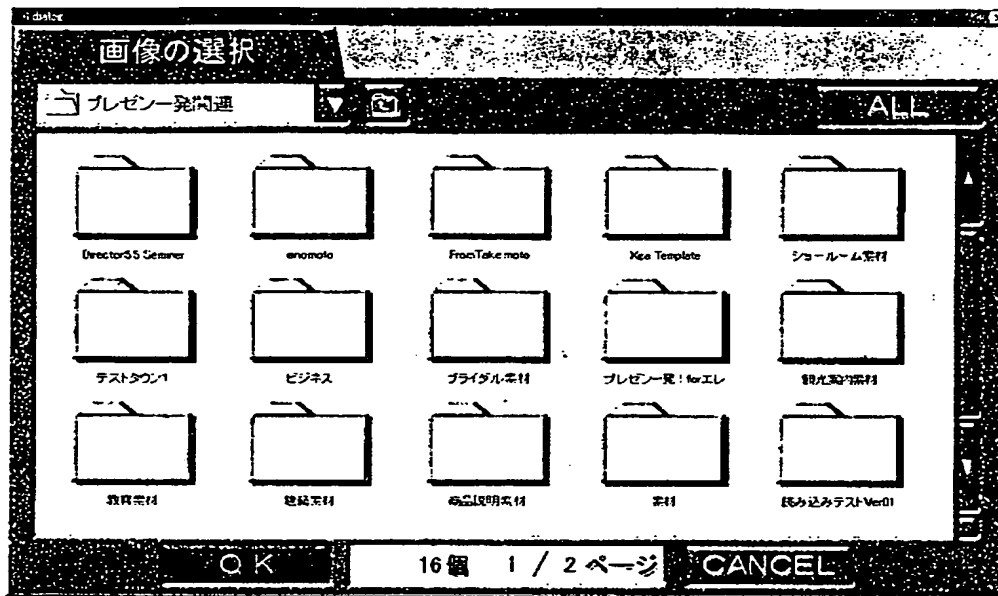
【図5】



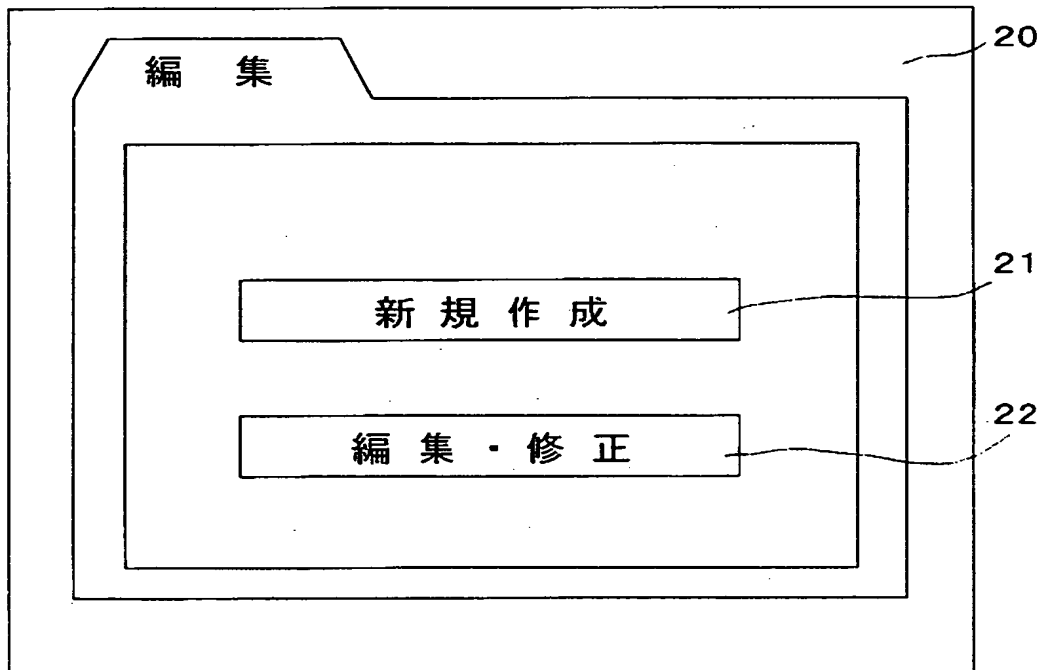
【図 6】



【図 7】



【図8】



【図9】

素材フォルダ



A. GIF



C. GIF



B

Bフォルダ



B. GIF



D

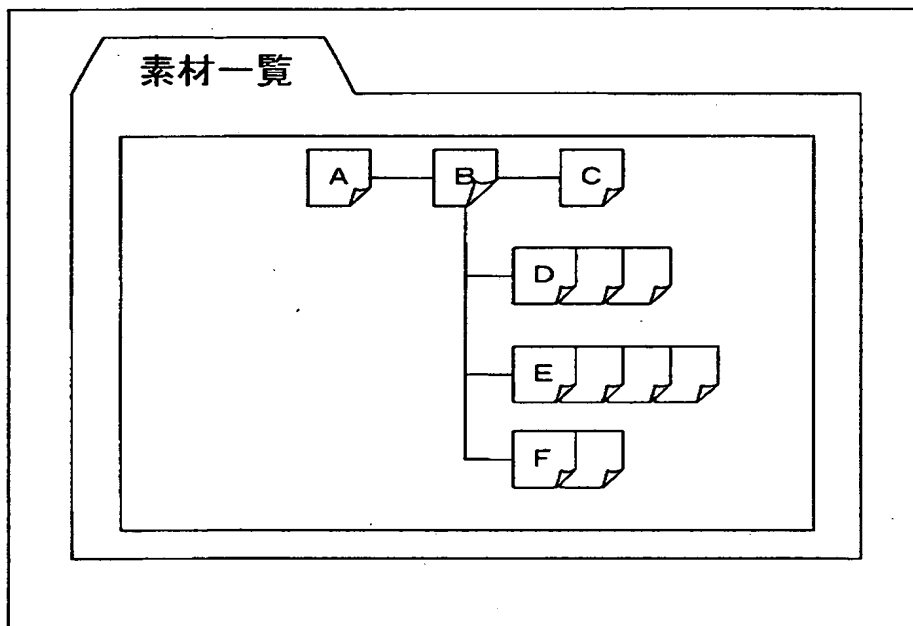


E

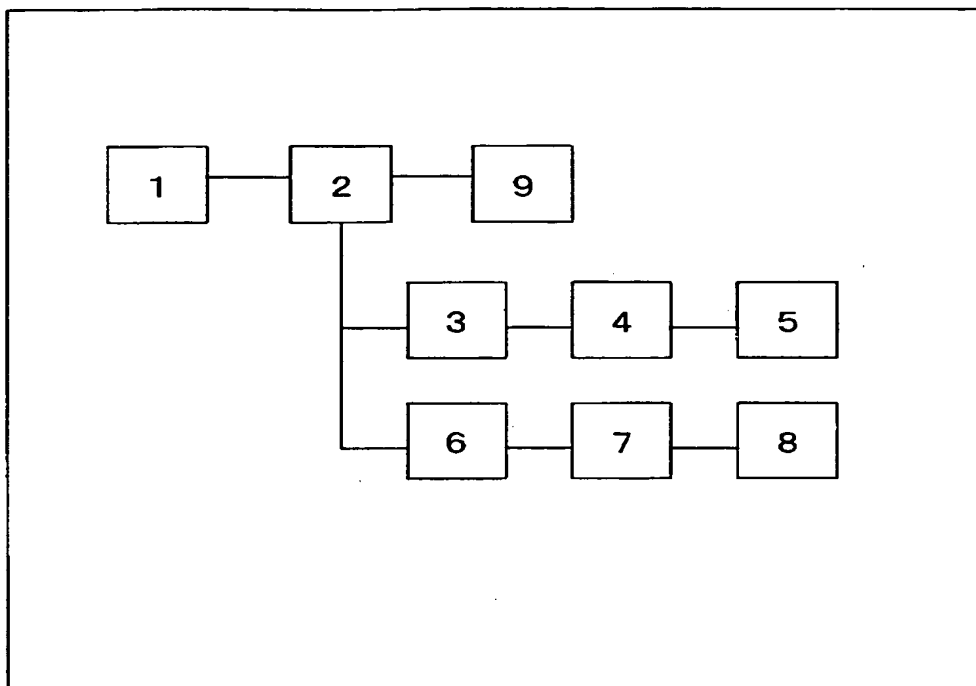


F

【図 10】



【図 11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 例えばプレゼンテーション用資料を作成する際、特に画像を取り込む際は、1つ1つ画像を指定して取り込んでいたのでは、手間がかかると共に、作成に要する時間もかかり、大変不便であった。

【解決手段】 素材メモリ 1 の画像情報を表示手段 2 に一覧表示させる素材一覧表示部 7 2 と、該表示手段 2 に一覧表示した画像情報を複数指定できる位置指定手段 5 と、画像を嵌め込む飾り枠を複数ページを関連付けて構成したテンプレートに指定した全ての画像を一括して取り込みプレゼン資料として作成するプレゼン作成手段 1 2 と、を備えた構成である。

【選択図】 図 1

【書類名】
【訂正書類】

職権訂正データ
特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

000001889

【住所又は居所】

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

【氏名又は名称】

三洋電機株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】

100076794

【住所又は居所】

群馬県邑楽郡大泉町坂田一丁目1番1号 三洋電機
株式会社 情報通信事業本部

【氏名又は名称】

安富 耕二

【選任した代理人】

【識別番号】

100107906

【住所又は居所】

群馬県邑楽郡大泉町坂田一丁目1番1号 三洋電機
株式会社 半導体事業本部 事業推進統括部 知的
財産部

【氏名又は名称】

須藤 克彦

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001889]

1. 変更年月日	1993年10月20日
[変更理由]	住所変更
住 所	大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号
氏 名	三洋電機株式会社